

飛躍

森町立旭が丘中学校 第3学年
学年通信 第13号
2020年 7月 2日 (木)
文責 太田 雄司

本日、1学期期末テストのテスト成績カードを生徒に渡しました。今回は、出題者からのコメントと得点分布グラフを掲載します。テスト成績カードとともに御覧になり、テストの反省に生かしていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。



☆1学期期末テストを振り返って

教科	【テストの傾向とアドバイス】
国語	授業で学んだ範囲の問題は良くできていました。基礎の学習や学習診断プリントに似た問題も混ざってあったので、解きやすかったかと思います。しかし、抜き出し問題のミスが目立ったので答え方を確認する習慣を身に付けていきましょう。 実力問題では、格助詞「の」の識別問題や助動詞「ない」の識別問題を出题しました。入試や学調の頻出問題にもなっているので、今回間違えてしまった人は確実に解き方を覚えるようにしましょう。また、作文問題は二つの資料から読み取ったことを踏まえて、自分の考えを書くという内容でした。誤字脱字と主述のねじれが目立ったので、日頃から文章を書くトレーニングをしていきましょう。
社会	教科書の太字など、知識・理解を問う問題はよくできていました。一方で、記述問題や並べ替え問題には課題が見られました。日頃から、教科書の本文を読んで予習・復習を行い、「〇〇だから××が起きた」といった前後のつながりを意識していくとよいと思います。授業中での問題解決の場面に積極的に関わることや、毎時間の振り返りを丁寧に記述していくことも有効です。加えて、記述する際には、「何がkey word」なのかを意識するようにしましょう。歴史の学習も終了します。定期テストに比べると、学力調査テストや入試への対策は、本当に大変です。自習室はB問題まで繰り返し行い、早め早めに総復習を進めておきましょう。
数学	今回の期末テストは予想していた以上に点数が取れており、しっかりと勉強してテストに挑んでいることがよくわかりました。特に「技能」観点の点数が高く、多くの生徒は計算問題を解く力が付いています。しかし、「見方・考え方」観点のできがあまり良くなく、応用問題や初めて見る問題を解く読解力が足りていないと感じます。高校入試の4割近くは「見方・考え方」に関する問題です。計算技能は身に付いている人が多いので、様々な応用問題に取り組み、高校入試に向けて確実な力を付けていきましょう。
理科	今回の範囲では、電気分解、電池のしくみ、酸・アルカリの3つの章で行ってきた実験を主とした構成となっています。問題としては、応用より基礎の確認をメインとした内容です。気になったことは、記述に関してです。文章で答える時には、「主語」「述語」をはっきりさせ、「〇〇が△△と反応して、□□となる。」など、「何が？」や「どうして？」などが明確になる文章にしていくことを意識して、分かりやすい文を書けるようにする必要があります。その参考となるのは、ワークなどの模範解答です。ワークをやった後の答え合わせの時に、○×の判断をするだけでなく、「どんな用語、表現で書かれているか」を確認しておくといよいでしょう。計算は必ず出ます。深い基礎をつくり、応用できる力を蓄えていきましょう。
英語	教科書の本文を扱った問題はよくできていました。文中の語を適切な形に直す問題（語形変化）や、意味が通るように語句を並べ替える問題は、入試の長文問題にもよく出題されます。自習室のB問題などで練習しましょう。一方で、疑問文の語順に課題が見られました。be動詞を使う疑問文はbe動詞が主語の前に置かれること、助動詞を使う疑問文は助動詞＋主語＋動詞の語順になることをおさえ、マラソンノートで練習しましょう。また、元の文を条件に合わせて書き換える問題にも課題が見られました。元の文から何か1つ語が変われば、動詞の形や代名詞も連動して変わっていきます。書き換えの練習もマラソンノートなどを利用しましょう。